

徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」
(第2回資料)

平成25年3月19日
徳島県企業局

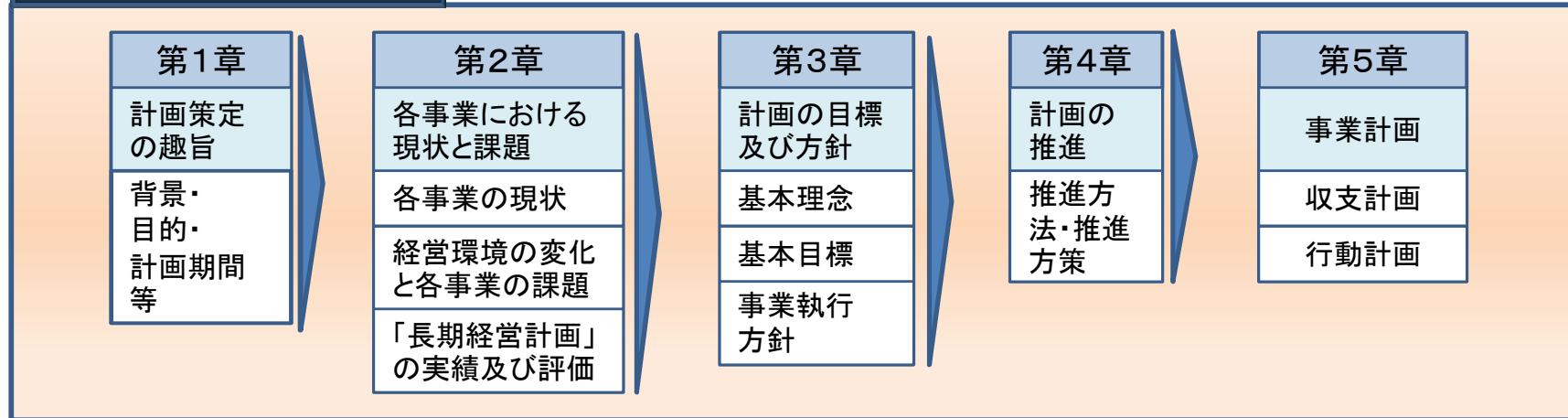
目 次

● 経営計画策定の趣旨	1
● 各事業の現状	3
● 経営環境の変化	4
● 各事業の課題	5
● 「前経営計画」の実績及び評価	8
● 企業局の目指す将来像	9
● 計画理念及び方針等	13
● 経営目標	14
● 経営戦略	15
● 目標達成のための取組体系表	17
● 目標達成のための取組	18
● 計画の推進	26
● 事業計画	28

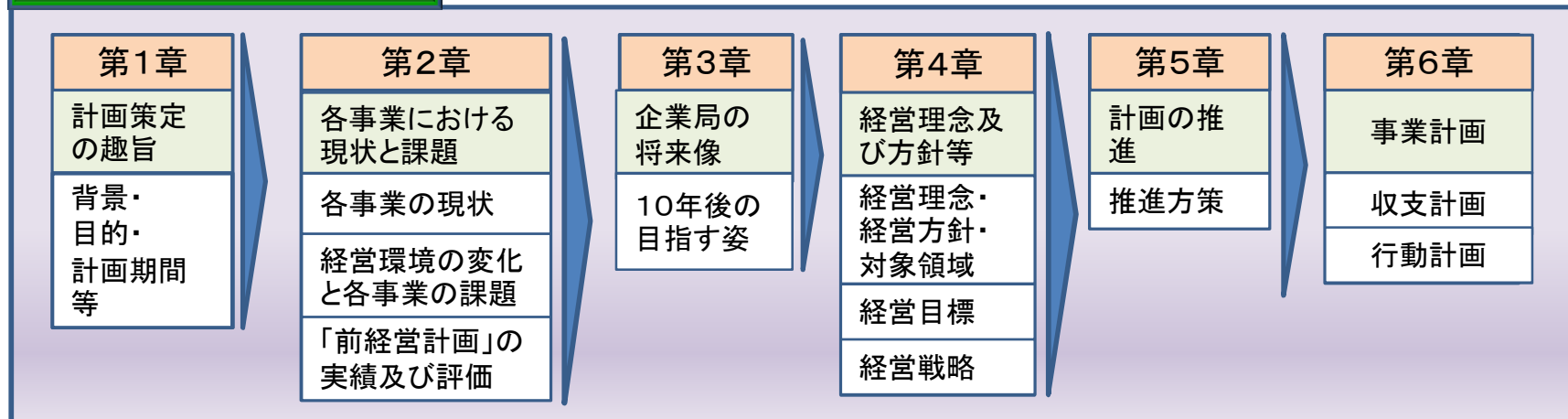
経営計画策定の趣旨(1)

経営計画の構成

現経営計画



新経営計画



経営計画策定の趣旨(2)

1. 背景

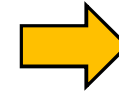
◆平成21年3月「徳島県企業局経営計画」策定(H21~H25)



経営環境
の変化



- ・南海トラフの巨大地震への備え
- ・制度見直し(電気、工水)への対応
- ・再生可能エネルギーの普及拡大
- ・改善しない経済状況への対応



経営計画
の見直し
が必要

2. 目的

◆企業局の本来の目的である**公共の福祉の増進**を図るとともに、「経営課題」に対応し、今後の集中投資等に対応するため、**民間の経営感覚**を活かし、**計画的かつ効率的な経営**を進めていくことを目的に策定するものである。

3. 計画期間

◆平成25年度から平成28年度までの**4年間**とする。

各事業の現状

電気事業

工業用水道事業

土地造成事業

駐車場事業

企業局の組織体制

各事業の施設状況

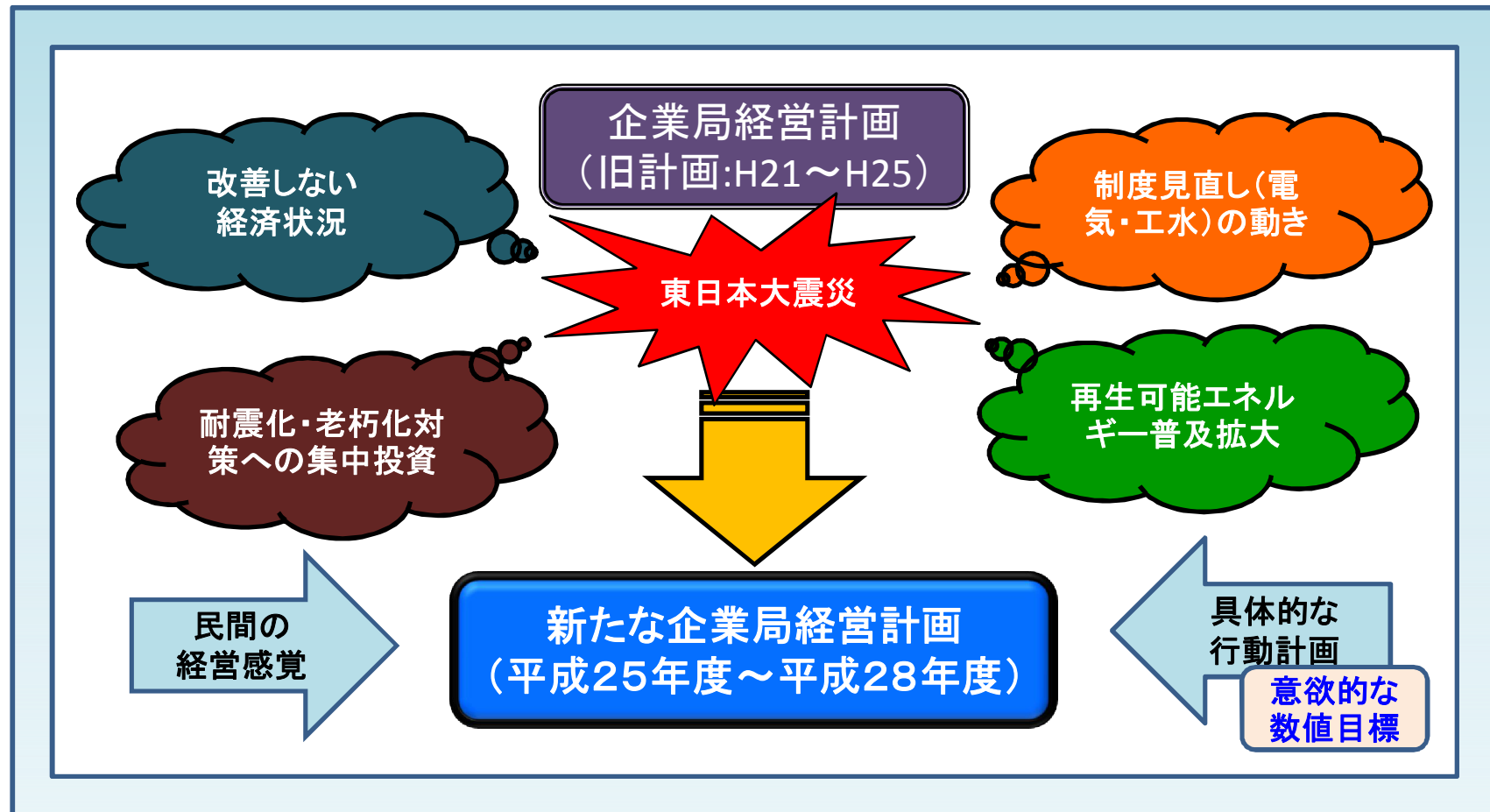
各事業の収支状況

各事業の全国比較

その他の取組(地域貢献等)

第1回委員会での説明内容について記載予定

経営環境の変化



各事業の課題(1)

電気事業

事業全般

- ◆改善しない経済状況において、総括原価方式による料金算定の見直し、発送電分離、小売り全面自由化などが実施されても、**安定供給に必要な料金収入の確保**が必要。
- ◆施設の**老朽化及び耐震化対策**が必要。

坂州発電所

- ◆発電所の大規模改良(坂州橋架替含む)[H26~H28]

日野谷発電所

- ◆土木施設の耐震化(水圧鉄管、水路橋、擁壁)[H24~H27]

川口発電所

- ◆川口ダムの耐震化(擁壁、洪水吐ゲート設備、予備発電設備)[H25~H33]

勝浦発電所

- ◆水車発電機及び屋外機器の改良[H25~H26]

各事業の課題(2)

工業用水道事業

事業全般

◆ **施設の老朽化対策**や**南海トラフの巨大地震への備え**(水管橋の耐震化、管路の更新・耐震化、安全度向上、緊急供給対策)を早急に実施する必要がある。

吉野川北岸

◆ 未売水の低減(主に新規需要の開拓)

阿南

- ◆ 未売水の低減(主に契約水量の増量)
- ◆ 頻発する渇水への対応
- ◆ コンクリート管路の更新・耐震化(給水を継続しながら実施)

各事業の課題(3)

土地造成事業

西長峰

- ◆未売地(1区画)の早期分譲。

駐車場事業

事業全般

- ◆指定管理者制度の適正運用
- ◆利用台数の増加対策

藍場町地下

- ◆土木構造物が老朽化し、漏水等も発生(耐震化は完了)
- ◆郊外型商業施設の進出等により利用台数減少

松茂

- ◆周辺民間駐車場との競合により利用台数が減少傾向

「前経営計画」の実績及び評価

前経営計画

- ◆ **計画期間** 5年間(平成21年度～25年度)
- ◆ **基本目標** ①安定供給の確保、②効率的経営の推進、③社会貢献の推進

実績と評価

◆ 計画期間における**主な成果**(基本目標別、事業別)

◆ 数値目標に対する**達成状況**

◆ 計画に対する**実績の評価**

企業局のめざす将来像(1)

～10年後のありたい姿～

電気事業のめざす将来像

●クリーンエネルギーである水力などの発電を通じて、電力の安定供給により、**地域の産業経済の発展と県民の福祉の向上に寄与**しているとともに、再生可能エネルギーの導入・促進、公有林化支援などにより、「環境首都とくしま」の実現の一翼を担う。

10年後のありたい姿

- ◆全ての施設の耐震化が完了し、**安全・安心な設備**となっている。
- ◆坂州発電所大規模改良、勝浦発電所屋外機器改良など老朽化対策が進み、**安心して供給できる設備**となっている。
- ◆総括原価方式は見直されたが、**安定的な料金収入が確保**されている。
- ◆メガソーラーは、順調に稼働し、**CO2削減に貢献**している。
- ◆ダム上流域の公有林化が進み、森林の持つ**水源かん養機能が強化**されている。

企業局のめざす将来像(2)

～10年後のありたい姿～

工業用水道事業のめざす将来像

●工業用水道事業は、老朽化・地震対策が完了し、良質で廉価な工業用水の安定供給を通じて、産業活動に欠かせないインフラとして、**地域の産業経済の発展と県民所得の向上に寄与**する。

10年後のありたい姿

- ◆南海トラフの巨大地震に備え、緊急供給対策、安全度向上対策や主要埋設管路の耐震化が完了し、**安心して供給できる体制が整備**されている。
- ◆臨空用地進出企業への新規給水などにより、**未売水量が減少し、料金収入が増加**している。
- ◆地下水送水設備の適正な運用により、**大きな渇水被害がない**。

企業局のめざす将来像(3)

～10年後のありたい姿～

土地造成事業のめざす将来像

- 本県産業の振興及び雇用創出のため、必要に応じ土地造成事業を行う。

10年後のありたい姿

- ◆ リース契約を終了した2区画は、リース契約をしていた企業に分譲がなされている。
- ◆ 未売地であったE区画は、対象業種をあらゆる業種に拡大したことにより、企業誘致がされている。

企業局のめざす将来像(4)

～10年後のありたい姿～

駐車場事業のめざす将来像

- 利用者の利便性が向上し、安全・安心な駐車場として利用していただくことにより、安定的な収益が確保されているとともに、広く県民に利用され、親しまれている。

10年後のありたい姿

- ◆多様な料金設定により、利便性が向上している。
- ◆藍場町地下駐車場は、利用者に安心感のある駐車場となっている。
- ◆駐車台数の減少傾向を脱し、安定的な収益が確保されている。
- ◆NPO活動の拠点としても広く県民に認知されているとともに、さまざまな工夫により、固定的な利用者が増加している。

経営理念及び経営方針等

経営理念

徳島県企業局は、「**企業の経済性の発揮**」と「**公共の福祉の増進**」という地方公営企業の「**経営の基本原則**」に基づき、企業局をとりまく変化にすばやく対応し、「**健全経営**」のもと「**県民生活の向上**」に貢献する。

経営方針

徳島県企業局は、経営理念に基づき、以下の方針を定める。

- ◎ **県民や企業に信頼**される公営企業をめざす！
- ◎ **民間の経営感覚**を持つ公営企業をめざす！
- ◎ **広く県民に利益を還元**できる公営企業をめざす！

対象領域

電気事業

工業用水道事業

土地造成事業

駐車場事業

○地方公営企業として**電気事業**、**工業用水道事業**、**土地造成事業**及び**駐車場事業**を実施し、その中で**社会貢献**も行っていく

経営目標

経営目標

◎全国でトップレベルの公営企業をめざす

1. 安価で良質、安全・安心なサービスの提供

- 低廉な料金で良質なサービスを提供する。
- 南海トラフの巨大地震に備える地震・津波対策を早急に実施する。
- 施設の老朽化対策により、安全・安心な施設、設備とする。
- 危機管理体制の強化を図る。

2. 経営資源を活用した経営基盤の強化

- 施設、設備の長寿命化、機能強化対策を実施する。
- 資金や資産の効率的運用を図っていく。
- 人材育成による組織力強化を図っていく。

3. 環境保全をはじめとした社会貢献の推進

- 県民、企業への利益還元の見える化を実施する。
- 企業局の技術力や資産を社会のニーズに活用する。
- 一般行政部門との連携を図る。

経営戦略(1)

戦略1

県民・企業ニーズ、経営環境の把握力・対応力強化

- 県民や企業のニーズ、経営環境の変化等を把握し、それらに的確に対応していくことにより経営基盤の強化を図る。
- 社会状況の変化を把握し、状況に応じた社会貢献を行う。

戦略2

企業局の強みの活用と強化

①既存ストックの強化と活用

- 施設の地震対策及び老朽化対策を行い、安全・安心な施設にするとともに、適正な施設・設備の維持管理により、経営基盤の強化を図る。
- 保有資産の有効活用により、経営基盤の強化や社会貢献の推進を図る。

②技術力等を活かせる人材育成による組織力強化

- 組織の底上げを図るため、「技術力のある人材育成」や「現場の改善力の強化」を行うとともに、企業局職員の技術力等を活用した社会貢献を行う。

経営戦略(2)

戦略3

コスト縮減と資金の戦略的活用

- 工事費、維持管理費等の**コスト縮減**を図るとともに、保有資金を有効に活用するため、投資計画を踏まえながら、**企業局内部での資金融通**を行う。
- 保有資金の**運用利息の増加**を図るため、効率的に運用する。
- **資金の戦略的活用**により得た利益は新たな投資や社会貢献に充てる。

戦略4

新しい価値創造の挑戦

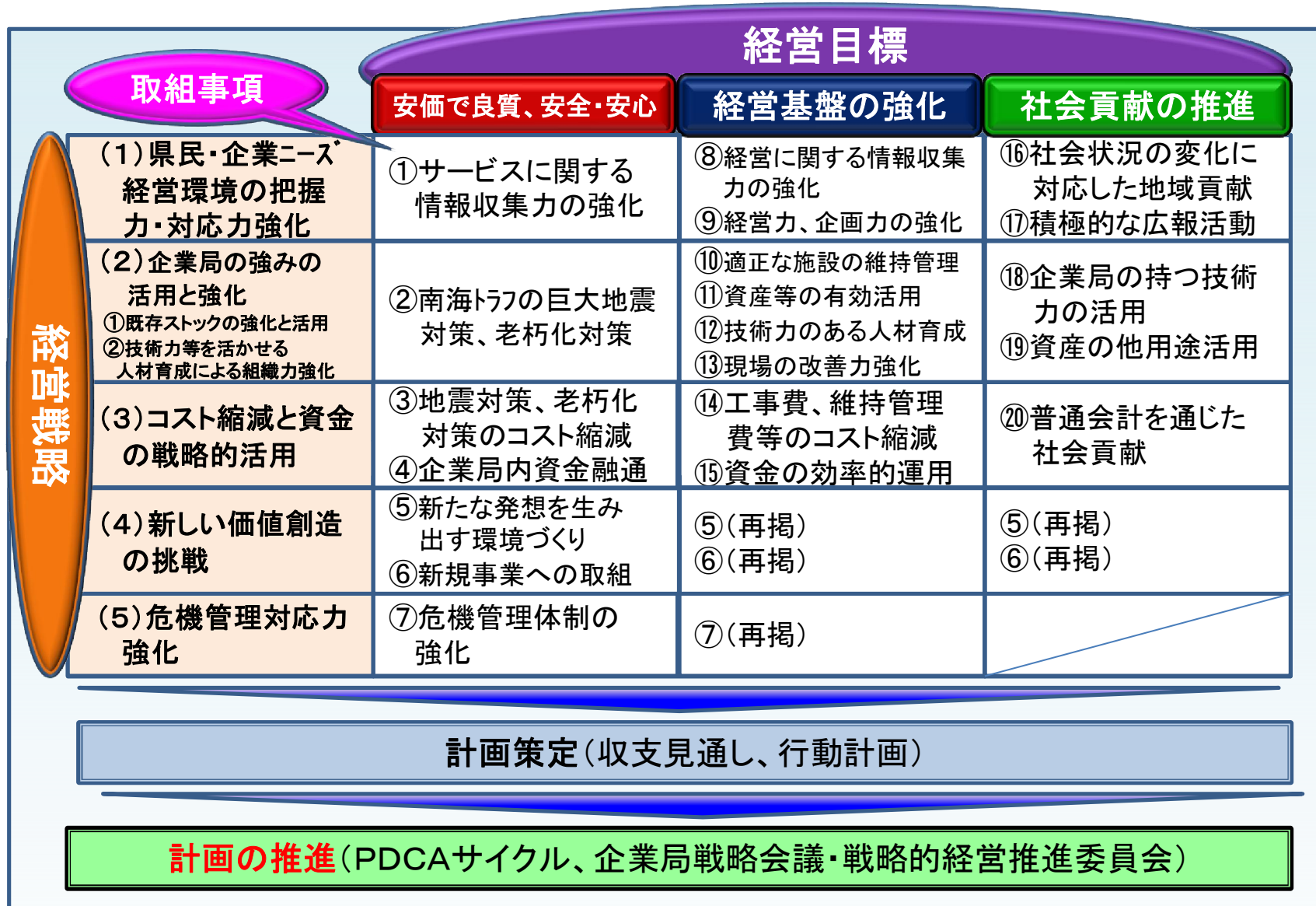
- **新たな発想や視点**で、新しい価値を創造する環境づくりに取り組む。
- **企業局の技術力**を活かし、新規事業にも取り組む。

戦略5

危機管理対応力強化

- **BCPやマニュアル等を整備し、周知徹底**するとともに、**定期的な訓練、研修等の実施**により、危機管理対応力の強化を図る。

目標達成のための取組体系表



安全・安心

目標達成のための取組(1)

取組①

安全・安心

戦略1

①サービスに関する情報収集力の強化

- 県民や企業が求めるサービスに関する情報を把握できるよう情報収集力の強化を図る。

取組②

安全・安心

戦略2

②南海トラフの巨大地震対策、老朽化対策

- 災害時においてもできるだけ電力及び工業用水の供給を継続できる態勢づくりを行うため、10か年の巨大地震対策に集中投資を実施する。
- 安定供給を確保するため、計画的に施設の老朽化対策を実施する。

取組③

安全・安心

戦略3

③地震対策、老朽化対策のコスト縮減

- 多額の投資が必要となる南海トラフの巨大地震対策や老朽化対策の計画や実施において、**実施時期や工法等の検討によりコスト縮減**を図る。

取組④

安全・安心

戦略3

④企業局内部での資金融通

- 「工業用水道南海トラフの巨大地震対策」に対し、**局内3会計から低利かつ長期の貸付を実施**し、工水事業会計の負担を軽減する。

安全・安心

目標達成のための取組(3)

取組⑤

安全・安心

経営強化

社会貢献

戦略4

⑤新たな発想を生み出す環境づくり

- 新しい価値創造のため、**人事交流や組織の弾力化**などにより新たな発想を生み出す環境づくりに取り組む。

取組⑥

安全・安心

経営強化

社会貢献

戦略4

⑥新規事業への取組

- 資金の戦略的活用**により得た利益で、新規事業への取り組みを行う。

取組⑦

安全・安心

経営強化

戦略5

⑦危機管理体制の強化

- 定期的な訓練の実施、BCPの周知・徹底**等により、危機管理体制の強化を図る。

取組⑧

経営強化

戦略1

⑧経営に関する情報収集力の強化

- **県民や企業のニーズ、経営環境の変化等**を敏感に把握できるよう、情報収集力の強化を図る。

取組⑨

経営強化

戦略1

⑨経営力、企画力の強化

- **企画力、経営力のある人材育成**に取り組むことにより、基盤の総合的な底上げを図る。

取組⑩

経営強化

戦略2

⑩適正な施設の維持管理

- **計画的**に設備の更新、修繕工事を行う。
- **定期点検や、台風通過・地震発生後の緊急点検**等により、経営基盤である施設、設備の機能維持を図る。

基盤強化

目標達成のための取組(5)

取組⑪

経営強化

戦略2

⑪資産等の有効活用

- 企業局が所有する**資産の有効活用**を行い、**収益の増加**を図る。
- 改良工事で発生する**スクラップの効率的売却**を行う。
- 川口ダム流木や工業用水道発生泥土など、**廃棄物の再資源化**を図る。

取組⑫

経営強化

戦略2

⑫技術力のある人材育成

- **技術力のある人材育成**に取り組むことにより、経営基盤の総合的な底上げを図る。

取組⑬

経営強化

戦略2

⑬現場の改善力強化

- **計画作成への参加、政策立案研修の実施等**により企業局を支える現場の力の改善・向上を図る。

取組⑭

経営強化

戦略3

⑭工事費、維持管理費等のコスト縮減

- 設備停止が必要となる修繕改良工事の計画や実施において、**実施時期や工法等の検討**によりコスト縮減を図る。
- **効率的な業務執行**を通してコストの縮減を図る。

取組⑮

経営強化

戦略3

⑮資金の効率的運用

- **金利引合による運用利息の増**を図るなど、資金の効率的運用を行う。

社会貢献

目標達成のための取組(7)

取組⑩

社会貢献

戦略1

⑩社会状況の変化に対応した地域貢献

■事業運営により得た利益により、森林の**公有林化**支援や**地域貢献**を行う。

取組⑪

社会貢献

戦略1

⑪積極的な広報活動

■事業運営に関し広く県民の理解と協力が得られるよう**見学会**や**出前講座**を実施し、企業局の積極的な**PR**に努める。

取組⑱

社会貢献

戦略2

⑱企業局の持つ技術力の活用

- 企業局の持つ**水力発電や工業用水のノウハウ及び電気機械関係の技術力を活かし**、行政機関への技術協力や、市町村等への技術支援及び情報提供等を行う。

取組⑲

社会貢献

戦略2

⑲資産の他用途活用

- 新たに建設した太陽光発電所を**自然エネルギーの普及啓発**や**地域の防災**に活用する。
- 撤去した水車ランナーや工水管などを展示物に活用し、**自然エネルギーの普及啓発**や**企業局事業のPR**を図る。

取組⑳

社会貢献

戦略3

⑳普通会計を通じた社会貢献

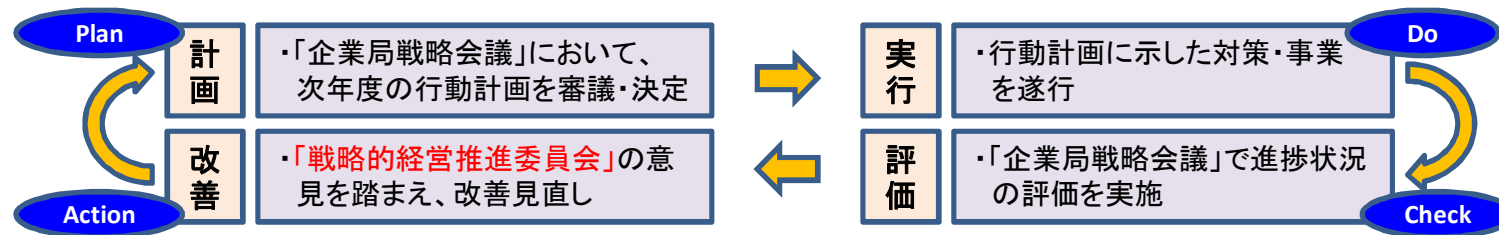
- 今後の投資に支障をきたさない範囲で**普通会計へ貸付け**を行う。

計画の推進(1)

1. 推進方策

(1) PDCAサイクルの確立

- ◆ 計画的に事業を実施し、効果的・効率的な事業の推進を図るため、**PDCA** (Plan-Do-Check-Action) サイクルによる進行管理を実施する。



(2) 見える化

- ◆ 計画の推進において、**社会状況、経営状況、顧客、知識**の視点から、問題点の見える化を行う。
- ◆ 評価を受けた計画の進捗状況をホームページで公表し、寄せられた意見を計画の推進に活かす。

計画の推進(2)

(3) 推進体制の構築

- ◆「企業局戦略会議」において、目標に対する各年度の進捗状況を検証するとともに、「**戦略的経営推進委員会**」の意見を踏まえ、必要により改善見直しを行う。
- ◆**市町村や関係企業及び団体等との連携強化**を図り、情報交換を行いながら計画を推進する。
- ◆「**いけるよ！徳島・行動計画**」やその他の知事部局で策定している計画と整合を図りながら計画を推進する。

(4) 広報公聴活動の充実

- ◆**県民の理解と協力のもと**、計画を推進することができるよう、広報公聴活動の充実強化を図る。

(5) 数値目標の設定

- ◆数値目標として、費用の**10%以上のコスト削減**を図る。

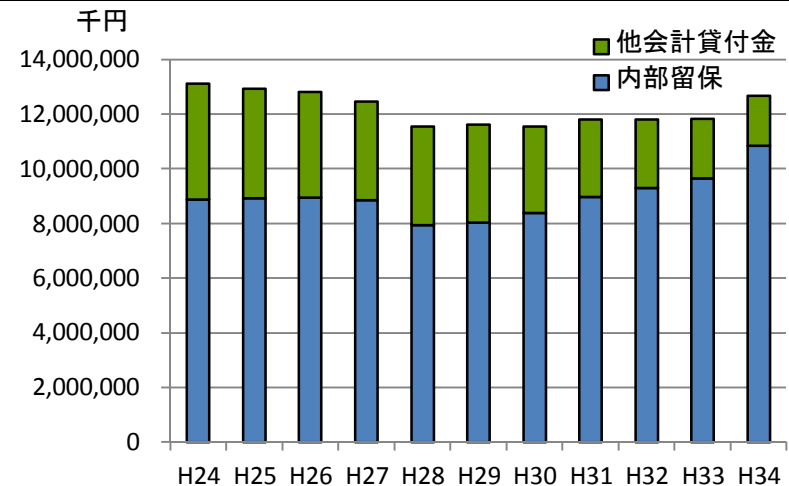
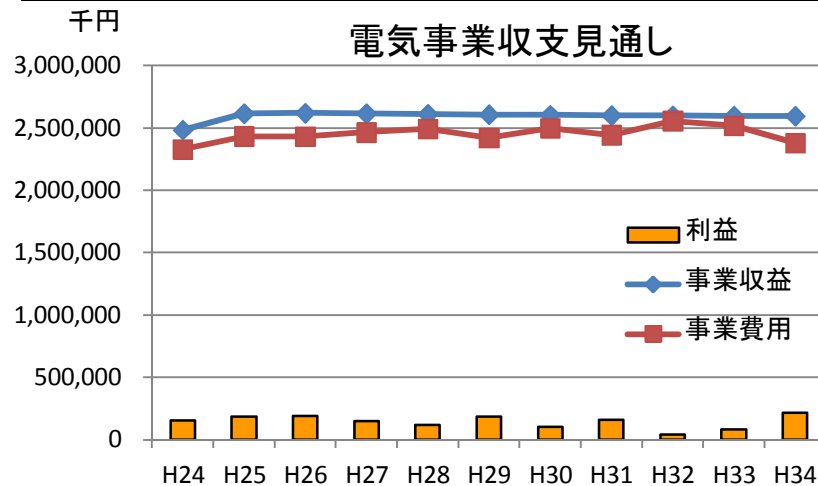
事業計画(1-1)

1. 収支見通し

電気事業

(単位:千円)

項目	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
収益的	事業収益	2,485,207	2,617,680	2,620,844	2,616,358	2,611,710	2,607,920	2,604,572	2,601,588	2,599,512	2,597,891	2,596,617	
	事業費用	2,328,781	2,434,210	2,432,307	2,465,570	2,493,707	2,421,319	2,499,819	2,444,341	2,557,194	2,517,907	2,378,910	
	利益	156,426	183,470	188,537	150,788	118,003	186,601	104,753	157,247	42,318	79,984	217,707	
資本的	収入	貸付償還金	282,523	380,231	477,538	801,340	513,148	512,955	421,763	332,271	325,794	342,394	334,794
		借入金・企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	282,523	380,231	477,538	801,340	513,148	512,955	421,763	332,271	325,794	342,394	334,794
収支	支出	改良費	2,541,000	1,137,000	933,000	2,802,000	1,651,000	950,000	831,000	682,000	998,000	525,000	167,540
		他会計貸付金	252,000	137,119	325,000	563,000	500,000	500,000	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	2,793,000	1,274,119	1,258,000	3,365,000	2,151,000	1,450,000	831,000	682,000	998,000	525,000	167,540
	差引	-2,510,477	-893,888	-780,462	-2,563,660	-1,637,852	-937,045	-409,237	-349,729	-672,206	-182,606	167,254	
	補填財源	2,510,477	893,888	780,462	2,563,660	1,637,852	937,045	409,237	349,729	672,206	182,606	-167,254	
年度資金末状況	内部留保	8,865,326	8,917,512	8,953,917	8,841,406	7,930,056	8,023,187	8,376,682	8,968,923	9,292,361	9,651,301	10,834,845	
	貸付金残高	4,242,416	4,009,304	3,856,766	3,618,426	3,605,278	3,592,323	3,170,560	2,838,289	2,512,495	2,170,101	1,835,307	
	企業債残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

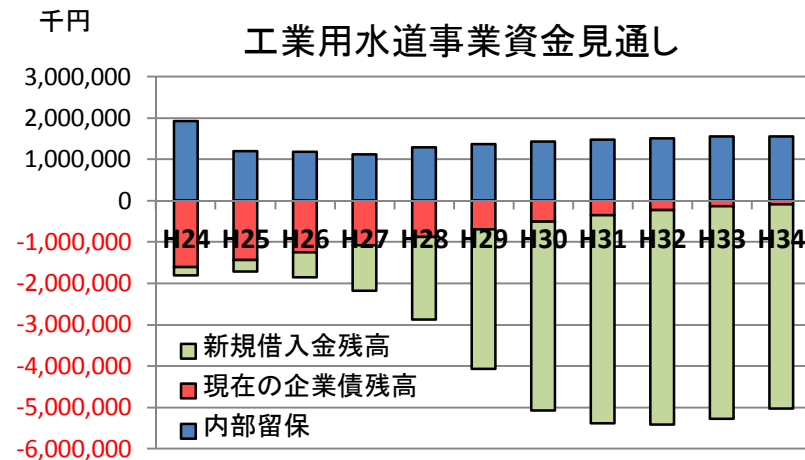
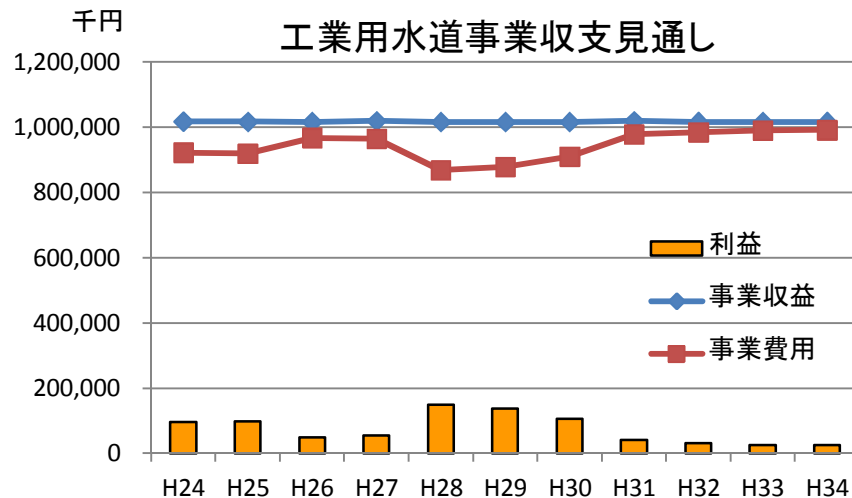


事業計画(1-2)

工業用水道事業

(単位:千円)

項目	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
収益の支	事業収益	1,018,080	1,017,277	1,016,737	1,019,479	1,016,737	1,016,737	1,016,737	1,019,479	1,016,737	1,016,737	1,016,737	
	事業費用	922,647	919,493	967,803	965,528	868,454	878,820	910,475	978,231	985,454	990,604	991,846	
	利益	95,433	97,784	48,934	53,951	148,283	137,917	106,262	41,248	31,283	26,133	24,891	
資本的収支	収入	国庫補助金	137,666	0	32,500	123,500	366,600	551,200	504,400	208,000	124,800	52,000	0
			0	0	0	0				0	0	0	
		借入金・企業債	0	80,000	321,000	506,000	880,000	1,430,000	1,270,000	590,000	350,000	140,000	0
		貸付償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	137,666	80,000	353,500	629,500	1,246,600	1,981,200	1,774,400	798,000	474,800	192,000	0
	支出	改良費	1,223,000	719,000	535,000	887,000	1,369,000	2,150,000	1,923,000	902,000	580,000	303,000	200,000
		企業債償還金	248,523	170,797	175,266	181,905	188,810	195,993	182,233	155,978	118,378	98,609	52,983
		借入償還金	0	0	0	0	0	32,100	82,700	135,367	185,367	185,367	194,024
		計	1,471,523	889,797	710,266	1,068,905	1,557,810	2,378,093	2,187,933	1,193,345	883,745	586,976	447,007
		差引	-1,333,857	-809,797	-356,766	-439,405	-311,210	-396,893	-413,533	-395,345	-408,945	-394,976	-447,007
補填財源	1,333,857	809,797	356,766	439,405	311,210	396,893	413,533	395,345	408,945	394,976	447,007		
年度資金末状況	内部留保	1,928,745	1,192,981	1,186,958	1,118,128	1,293,342	1,374,291	1,432,152	1,480,333	1,512,519	1,559,098	1,556,000	
	借入金残高	200,000	280,000	601,000	1,107,000	1,987,000	3,384,900	4,572,200	5,026,833	5,191,466	5,146,099	4,952,075	
	企業債残高	1,600,851	1,430,054	1,254,788	1,072,883	884,073	688,080	505,847	349,869	231,491	132,882	79,899	

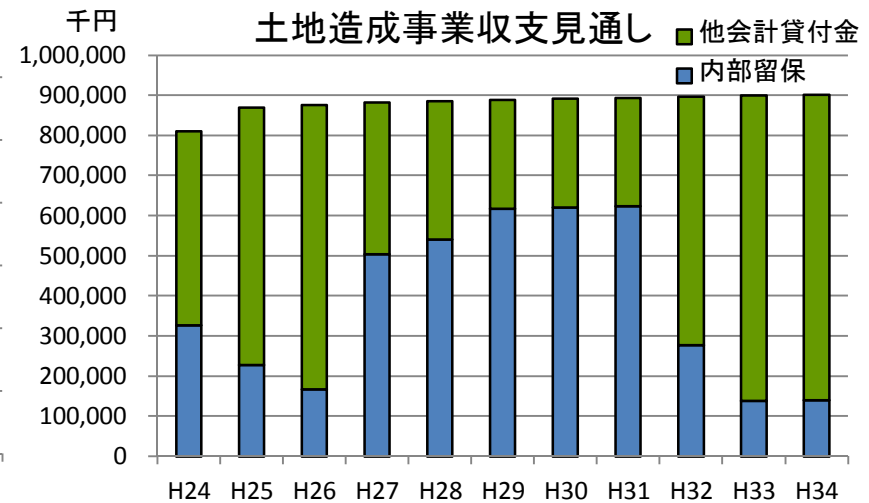
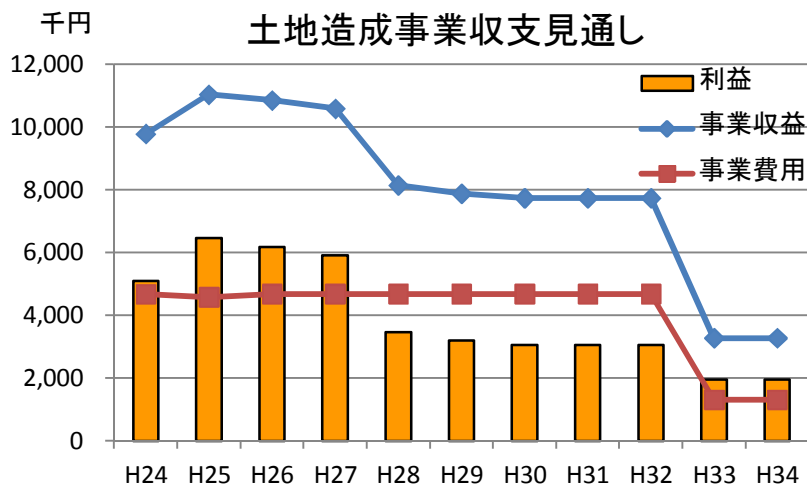


事業計画(1-3)

土地造成事業

(単位:千円)

項目		年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
収益	事業収益		9,788	11,044	10,859	10,594	8,146	7,881	7,740	7,740	7,740	3,278	3,278
	事業費用		4,685	4,586	4,686	4,686	4,686	4,686	4,686	4,686	4,686	1,316	1,316
	利益		5,103	6,458	6,173	5,908	3,460	3,195	3,054	3,054	3,054	1,962	1,962
資本的 収支	貸付償還金		233,077	33,077	33,077	482,077	33,077	72,942	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	借入金・企業債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		233,077	33,077	33,077	482,077	33,077	72,942	0	0	0	0	0
	改良費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計貸付金		237,000	112,000	100,000	150,000	0	0	0	0	350,000	140,000	0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		237,000	112,000	100,000	150,000	0	0	0	0	350,000	140,000	0
	差引		-3,923	-78,923	-66,923	332,077	33,077	72,942	0	0	-350,000	-140,000	0
補填財源		3,923	78,923	66,923	-332,077	-33,077	-72,942	0	0	350,000	140,000	0	
年度末 状況	内部留保		325,800	227,140	166,390	504,375	540,912	617,049	620,103	623,157	276,211	138,173	140,135
	貸付金残高		485,000	641,923	708,846	376,769	343,692	270,750	270,750	270,750	620,750	760,750	760,750
	企業債残高		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

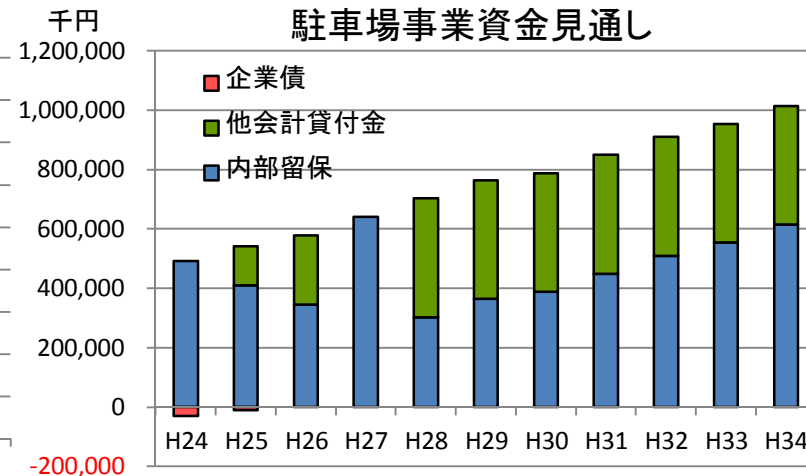
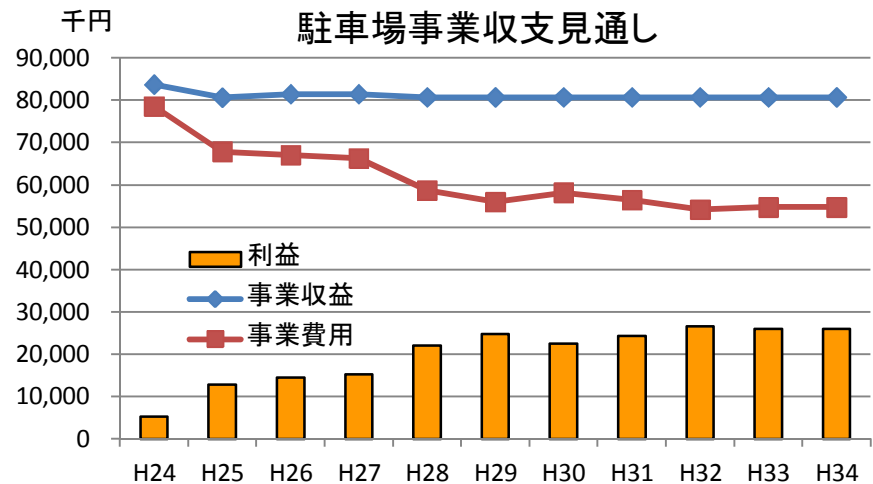


事業計画(1-4)

駐車場事業

(単位:千円)

項目	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
収益的 収支	事業収益	83,724	80,660	81,456	81,456	80,724	80,724	80,724	80,724	80,724	80,724	80,724	
	事業費用	78,552	67,856	67,054	66,288	58,709	55,955	58,171	56,396	54,170	54,720	54,720	
	利益	5,172	12,804	14,402	15,168	22,015	24,769	22,553	24,328	26,554	26,004	26,004	
資本的 収支	収入	貸付償還金	0	0	0	233,000	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		借入金・企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	233,000	0	0	0	0	0	0	0
	支出	改良費	5,500	116	14,595	0	0	0	35,942	0	788	17,703	0
		他会計貸付金	0	133,000	100,000	0	400,000	0	0	0	0	0	0
		企業債償還金	19,210	20,057	10,882	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	24,710	153,173	125,477	0	400,000	0	35,942	0	788	17,703	0
		差引	-24,710	-153,173	-125,477	233,000	-400,000	0	-35,942	0	-788	-17,703	0
補填財源	24,710	153,173	125,477	-233,000	400,000	0	35,942	0	788	17,703	0		
年度 資金 末 状況	内部留保	491,314	408,941	345,082	640,578	302,342	364,106	387,468	449,301	510,035	553,240	614,148	
	貸付金残高	0	133,000	233,000	0	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	
	企業債残高	30,939	10,882	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

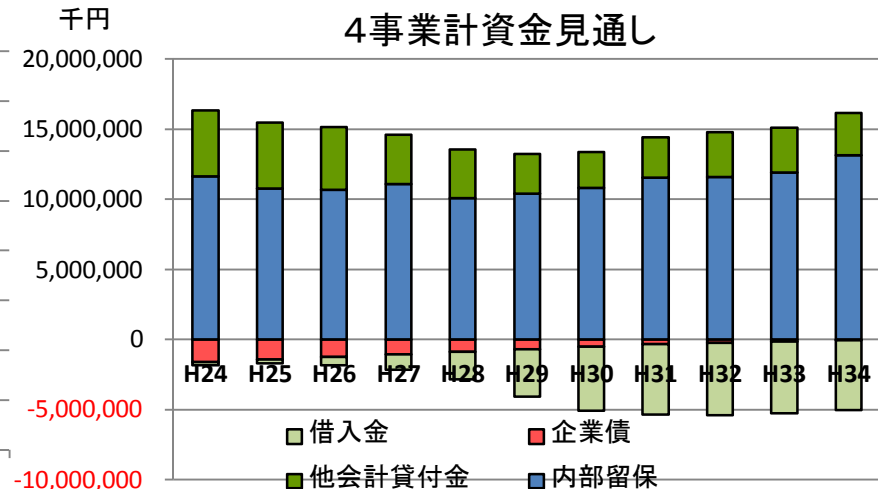
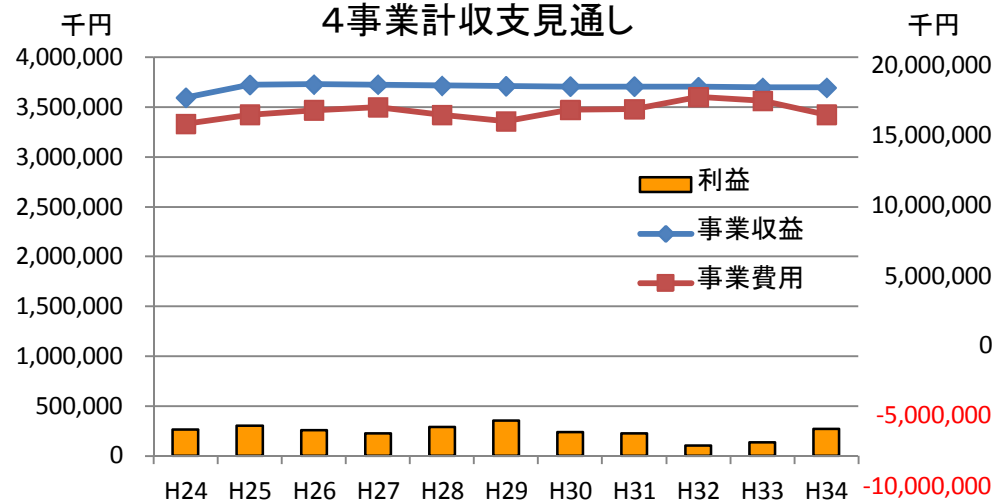


事業計画(1-5)

4事業計

(単位:千円)

項目	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
収益の支	事業収益	3,596,799	3,726,661	3,729,896	3,727,887	3,717,317	3,713,262	3,709,773	3,709,531	3,704,713	3,698,630	3,697,356	
	事業費用	3,334,665	3,426,145	3,471,850	3,502,072	3,425,556	3,360,780	3,473,151	3,483,654	3,601,504	3,564,547	3,426,792	
	利益	262,134	300,516	258,046	225,815	291,761	352,482	236,622	225,877	103,209	134,083	270,564	
資本的収支	収入	国庫補助金	137,666	0	32,500	123,500	366,600	551,200	504,400	208,000	124,800	52,000	0
		貸付償還金	515,600	413,308	510,615	1,516,417	546,225	585,897	421,763	332,271	325,794	342,394	334,794
		企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計借入金	0	80,000	321,000	506,000	880,000	1,430,000	1,270,000	590,000	350,000	140,000	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	653,266	493,308	864,115	2,145,917	1,792,825	2,567,097	2,196,163	1,130,271	800,594	534,394	334,794	
	支出	改良費	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		他会計貸付金	489,000	382,119	525,000	713,000	900,000	500,000	0	0	350,000	140,000	0
		企業債償還金	267,733	190,854	186,148	181,905	188,810	195,993	182,233	155,978	118,378	98,609	52,983
		借入償還金	0	0	0	0	0	32,100	82,700	135,367	185,367	185,367	194,024
計		762,233	578,473	716,648	900,405	1,094,310	733,593	270,433	296,845	659,245	429,476	252,507	
差引	-108,967	-85,165	147,467	1,245,512	698,515	1,833,504	1,925,730	833,426	141,349	104,918	82,287		
補填財源	108,967	85,165	-147,467	-1,245,512	-698,515	-1,833,504	-1,925,730	-833,426	-141,349	-104,918	-82,287		
年度末状況	内部留保	11,611,185	10,746,574	10,652,347	11,104,487	10,066,652	10,378,633	10,816,405	11,521,714	11,591,126	11,901,812	13,145,128	
	貸付金残高	4,727,416	4,704,227	4,477,612	3,489,195	3,468,970	2,833,073	2,571,310	2,919,039	3,183,245	3,190,851	2,996,057	
	借入金残高	200,000	280,000	601,000	1,107,000	1,987,000	3,384,900	4,572,200	5,026,833	5,191,466	5,146,099	4,952,075	
	企業債残高	1,631,790	1,440,936	1,254,788	1,072,883	884,073	688,080	505,847	349,869	231,491	132,882	79,899	



事業計画(2-1)

2. 行動計画(1)

◆各戦略における具体的な行動計画(H25~H28)

◆意欲的な数値目標の設定

安全・安心

戦略1

取組①

①サービスに関する情報収集力の強化

工水

駐車場

- ◆アンケート調査、企業訪問等の実施
- ◆ホームページでの意見入力フォームの活用

駐車場

- ◆利便性向上策の検討・実施

事業計画(2-2)

2. 行動計画(2)

安全・安心

戦略2

取組②

②南海トラフの巨大地震対策、老朽化対策

電気

～災害時にも電力供給が継続できる態勢づくり～

◆川口ダムゲートなど耐震化への集中投資(H24～H33の10か年で**24億円**)

工水

～発災3日目応急復旧、15日目完全復旧の態勢づくり～

◆平成24年度～33年度の10か年計画(**最大174億円**)

(水管橋、埋設管路の耐震化、緊急供給対策、安全度向上、ソフト対策)

安全・安心

戦略3

取組③

③地震対策、老朽化対策のコスト縮減

電気

工水

～コスト縮減額を新たな投資へ～

◆改修計画の合理化重点化

(水圧鉄管等の耐震補強集中化による減収回避)

(撫養川水管橋耐震化、老朽度評価に基づく管路更新)

事業計画(2-3)

2. 行動計画(3)

安全・安心

戦略3

取組④

④企業局内部での資金融通

電気

工水

土地

駐車場

～工水会計の支援～

◆「工業用水道南海トラフの巨大地震対策」に対し、局内3会計から低利かつ長期の貸付を実施

・電気事業、土地造成事業、駐車場事業



工業用水道事業

支払利息の縮減
による差額利益

安全・安心

経営基盤

社会貢献

戦略4

取組⑤

⑤新たな発想を生み出す環境づくり

電気

工水

土地

駐車場

- ◆計画的な人事交流の推進
- ◆組織体制の弾力化

事業計画(2-4)

2. 行動計画(4)

安全・安心

経営基盤

社会貢献

戦略4

取組⑥

⑥新規事業への取組

電気

◆新エネルギーへの取り組み

安全・安心

経営基盤

戦略5

取組⑦

⑦危機管理体制の強化

電気

工水

土地

駐車場

- ◆定期的な訓練、研修等の実施
- ◆BCP(事業継続計画)等の周知徹底
- ◆マニュアル等の作成・整備
- ◆緊急時の連絡体制の整備
- ◆新たな渇水対策の調査・研究(工水)

事業計画(2-5)

2. 行動計画(5)

経営基盤

戦略1

取組⑧

⑧経営に関する情報収集力の強化

電気

工水

駐車場

土地

- ◆アンケート調査、企業訪問等の実施(再掲)
- ◆ホームページでの「意見入力フォーム」の活用(再掲)
- ◆制度改正等の情報収集

経営基盤

戦略1

取組⑨

⑨経営力、企画力の強化

電気

工水

駐車場

土地

- ◆経営力の強化(コスト意識の徹底、計画的な人事交流)
- ◆企画力の強化(ユーザーや県民のニーズに的確に対応できる創造力と高度な技能・知識、職員表彰の実施)

事業計画(2-6)

2. 行動計画(6)

経営基盤

戦略2

取組⑩

⑩適正な施設の維持管理

電気

工水

駐車場

～戦略的な10か年計画～

◆設備更新、修繕10か年計画の策定(2年毎に見直し)

電気

工水

駐車場

- ◆常に良好な施設、設備の運用が行えるよう定期的な点検の実施
- ◆台風通過、地震発生後等の施設、設備の緊急点検の実施
- ◆不良設備の速やかな機能回復

事業計画(2-7)

2. 行動計画(7)

経営基盤

戦略2

取組⑪

⑪資産等の有効活用

電気

- ◆電気事業制度改革への対応
- ◆川口ダム流木の資源化
- ◆改良工事で発生するスクラップの効率的売却

工水

- ◆未売水の低減対策
- ◆発生泥土の資源化(園芸用土、工業製品原料)

土地

- ◆未分譲地の早期分譲
- ◆企業立地が見込めない場合には、メガソーラー建設を検討

駐車場

- ◆駐車場休憩室をNPOヴィレッジや会議室活用による利用台数の増加
- ◆その他の利用台数増加対策

事業計画(2-8)

2. 行動計画(8)

経営基盤

戦略2

取組⑫

⑫技術力のある人材育成

電気

工水

駐車場

◆技術力の強化(現場技術の伝承、最新技術の導入)

経営基盤

戦略2

取組⑬

⑬現場の改善力強化

電気

工水

駐車場

- ◆業務改善検討チームの設置(各課・所長をメンバー、職員提案の効果を検証)
- ◆計画作成への参加(計画策定段階で現場職員が参加、現場の声を計画に反映)
- ◆政策立案研修の実施(公営企業に即した政策立案研修)
- ◆先進地事例研究会の開催(先進地研修の成果を発表、最新技術、知識の修得)

事業計画(2-9)

2. 行動計画(9)

経営基盤

戦略3

取組⑭

⑭工事費、維持管理費等のコスト縮減

電気

工水

駐車場

～コスト縮減額を新たな投資へ～

- ◆設計の最適化(坂州発電所大規模改良:建屋簡素化、坂州橋架替)
- ◆改修計画の合理化重点化(設備停止期間集中化による減収の回避)
- ◆予防保全による設備の機能維持、長寿命化(定期点検の実施、修繕費用の減)
- ◆機器の高効率化(機器費縮減、出力向上)
- ◆トータルコストで見る効果の最大化(設備停止による減収の回避、維持管理費を含めた縮減)
- ◆指定管理者制度の適正運営

経営基盤

戦略3

取組⑮

⑮資金の効率的運用

電気

工水

土地

駐車場

- ◆金利引合による運用利息の増

事業計画(2-10)

2. 行動計画(10)

社会貢献

戦略1

取組⑩

⑩社会状況の変化に対応した地域貢献

電気

- ◆公有林化の支援(「企業局森づくり支援事業」の実施)
- ◆地域振興のための事業支援(ダム水源地サポート事業の実施)

社会貢献

戦略1

取組⑪

⑪積極的な広報活動

電気

工水

土地

駐車場

- ◆経営情報の開示
- ◆見学会、学習ひろば、出前講座の実施
- ◆ホームページの充実
- ◆インターンシップの受け入れ
- ◆「事業評価」の実施と公表

事業計画(2-11)

2. 行動計画(11)

社会貢献

戦略2

取組⑱

⑱企業局の持つ技術力の活用

電気

工水

- ◆再生可能エネルギーの導入検討及び情報収集
- ◆地域エネルギー開発導入に関する支援
- ◆行政機関等への技術協力(消防学校講師等)
- ◆水道事業者に対する技術協力(工業用水道事業)

事業計画(2-12)

2. 行動計画(12)

社会貢献

戦略2

取組⑱

⑱資産の他用途活用

電気

工水

～施設見学会等に活用～

- ◆使用しなくなった水車ランナを**展示物**に活用(川口ダム)
- ◆使用しなくなった工水管を**展示物**に活用

電気

～自然エネルギーへの取組～

- ◆マリンピア沖洲太陽光発電所を**自然エネルギーの普及啓発**に活用
- ◆和田島太陽光発電所を**地域の防災**に活用(実証実験)

社会貢献

戦略3

取組⑳

⑳普通会計を通じた社会貢献

電気

- ◆今後の投資に支障をきたさない範囲で**普通会計への貸し付け**を通じて社会貢献を行う。

事業計画(3)

様式

行動計画シート

基本目標	安全安心	経営基盤	社会貢献	戦略	戦略1~5			
取組事項	取組①~⑳			内容				
行動計画					25	26	27	28
◆	_____				→			
◆	_____				→			
数値目標等				取組実績				
◇	_____							